

足立区議会議長 た だ 太 郎 様

足立区議会議員 38 番 いいくら 昭二 印

一般質問通告書

今定例会に下記要旨の一般質問を行いたいので、会議規則第59条第2項の規定により質問通告書を提出します。

記

行政区分	質問の要旨
1. 衛生行政	<p>I. 糖尿病対策について</p> <p>1) 区の「健康あだち21行動計画」の変遷について</p> <p>1. 平成14年度～平成24年度「健康あだち21行動計画」の開始時の区民の糖尿病に関する実態はどうだったのか。 また、この10年の行動計画期間でどのような成果があったのか、併せて伺う。</p> <p>2. 「区民の健康寿命は都の平均より約2歳短い」理由を区が分析したところ、当時、糖尿病が区の国保医療費の上位を占めていることや、一人当たりの糖尿病医療費・受診件数が23区で最も高かったこと等だった。そこで「糖尿病対策アクションプラン」を策定したが、平成25年度～令和5年度の第二次行動計画期間での取組みにより、どのような成果があったのか伺う。</p> <p>3. 現在、令和6年4月からスタートした第三次行動計画を推進している。この第三次行動計画で新たな対策の柱として「働き世代の健康づくり」を掲げているが、拡充された理由は何か。 また、健康あだち21専門部会を中心に各部門でどのような議論をし、課題解決のために令和8年度はどのような計画を推進していくのか。</p> <p>さらに、特定健診受診率の向上のために、自営業者が所属する青色申告会等との連携や40歳～50歳代等に対する新年度の取組みはどうか、併せて伺う。</p> <p>2) 野菜を食べやすい環境づくりについて</p> <p>区民1日の推定野菜摂取量は233gで、国が推奨する350gと大きくかけ離れ、特に男性は依然として国の平均との差が大きいのが現状である。</p> <p>1. 区は、野菜を食べやすくなる環境づくりを民間企業・団体と</p> <p>2月13日 午前・午後 9時00分受付 質問時間 20分</p>

	38番 いいくら 昭二
行政区分	質問の要旨
	<p>協力しながら進めているが、区民に野菜の摂取の必要性をどのような方法で啓発を進めていくのか伺う。</p> <p>2. 区内飲食店や身边にあるスーパー・コンビニエンスストアがベジタベライフ協力店となることが必要と思う。区は1,500店舗を目指しているが、どのような取組みをしているのか。</p> <p>また、新たにベジタベライフ協力店を増やす取組みやメニュー等の紹介の冊子等を作り、区民に配布すべきと思うがどうか。</p> <p>さらに、区は男性が国の平均との差が大きい理由を分析して、新年度は男性にターゲットを絞った取組みをしていくべきと思うが、併せて伺う。</p>
2. 学校運営行政	<p>3) 子ども・家庭の望ましい生活習慣の定着について</p> <p>健康あだち21（第三次）行動計画によると「適正体重の区民割合は、年齢が増すごとに減少し肥満が増加している。家庭では野菜から食べている割合が低い等」とのことである。これらの課題解決のために子ども達にとって学校給食も重要な役割になる。</p> <p>1. 区は身近な給食を生きた教材として、平成21年から「給食メニューコンクール」として野菜摂取や栄養バランスを考え、発表の場を提供している。どのような効果があったのか。</p> <p>また「給食メニューコンクール」で人気があったメニュー・レシピを冊子等にして区民にも紹介して行くべきと思うが、併せて伺う。</p> <p>2. 区はこれまで、子どもに必要な栄養を取るために苦手な食材、例えば「魚」を食べやすくするために工夫した調理をしているが、効果はどうか。</p> <p>また給食の食材の中で「魚」の他、どのような食材が苦手か。</p> <p>さらに、この苦手の食材を克服するために「苦手シリーズ」として工夫した調理を展開していくべきと思うが、併せて伺う。</p>
3. 衛生行政	<p>4) 働き世代の健康づくりについて</p> <p>区は元気な職場づくり応援事業として、健康経営に積極的に取り組む区内事業所について、区の保健師や管理栄養士が支援する事業を行い糖尿病対策に繋げている。</p> <p>1. 昨年12月、足立労働基準監督署等の主催で行われた足立・荒川安全衛生推進大会において、他の企業の手本となる事例として、この応援事業で区から支援を受けた事業所が取組みを発表する機会があったと聞いたが、その内容と成果はどうか。</p> <p>また、この発表によりどのような反響があったのか、併せて伺う。</p>

	38番 いいくら 昭二
行政区分	質問の要旨
	<p>2. 元気な職場づくり応援事業は、現在、16事業所を区が支援しているが、新たに何社の応募事業者があるのか。</p> <p>また、その成功事例をいかに周知し、区内事業所内にも推進していくかがカギになる。今回のように、企業が集まる場で周知することは有効と思うが、併せて伺う。</p> <p>5) 糖尿病等の重症化予防について</p> <p>昨年11月の糖尿病月間は「ベジ+（プラス）ちょこ活」をテーマに行われた。</p> <p>1. 区は令和6年度の糖尿病月間で、区民から集まった「ちょこ活」の事例を元に理学療法士等の監修の下、新たに「ちょこ活」のチラシを作成しているが、配布状況や配り方等に何か工夫をした点はあるのか。</p> <p>また、例えば歯磨きをしながら「かかと上げ運動」を行う等、日常生活で「あと5分」増やす「ちょこ活」は、運動の啓発であり「動き」を伴うものである。今後、動画による啓発を行うことも効果的と考えるがどうか。</p> <p>さらに、動画作成の際には「ちょこ活」の動画に、区の関係者が出演してデモンストレーションを兼ねて区民に啓発活動を積極的に推進すべきと思うが、併せて伺う。</p> <p>2. 我が党の令和6年第三回定例会の代表質問で、糖尿病と歯周病には関係があり相互に症状を悪化させ、糖尿病の重症化対策として「糖尿病患者に歯科健診の無料チケットの配付をすべき」と質問した。区は「令和6年11月から実施する」との答弁だったが、今年度はこれまで16件の実績と聞いている。この配付には医師会・歯科医師会等の協力が欠かせないが、どのような協力体制となっているのか。</p> <p>また「無料チケット」を手渡された区民が、歯科医療機関に受診できるよう糖尿病月間に合わせて、リーフレットや動画等を活用した周知を行っていくべきと思うが、併せて伺う。</p> <p>6) 「すこやかプラザ あだち」の役割について</p> <p>区の新たな取組みとして、糖尿病等の生活習慣病の予防や改善のため希望者に14種の健康チェックを推進している。</p> <p>1. このプラザでは1階で健康チェックをし、2階で健康コンシェルジェによる相談まで誘導しているが、1日でどのくらいの利用者があり、どのような効果があったのか。</p> <p>また1階の14種の健康チェックの内、血管年齢と脳年齢を測る測定器に多くの利用者が集中し、込み合う状況である。来年度</p>

	38番 いいくら 昭二
行政区分	質問の要旨
	<p>以降は、測定器を増やして利用しやすいように取組んでいくべきと思うがどうか。</p> <p>さらに健康チェックをもっと広く区民に知ってもらうために、新たに千住や綾瀬地域からプラザまでのアクセスを掲載したチラシを作成し、区民事務所等に置き周知に努めるべきと思うが、併せて伺う。</p> <p>2. 「60歳からの健康リスタート事業」として現在、健康教室を開き利用者アンケートも実施しているが、約1年が経ち取組みの効果と課題は何か。</p> <p>また、この健康教室を終了した参加者が地域に戻った後も相談や自主活動ができるよう、各保健センターや自主グループを紹介し、特に男性が活動ができる場の提供等に力を入れていくべきと思うが、併せて伺う。</p> <p>4. 都市建設行政</p> <p>II. 千住地域のまちづくりの課題について</p> <p>1) 北千住駅周辺のまちづくりについて</p> <p>昨年末、北千住駅東口駅前 都市計画・再開発事業説明会があり、多くの方が出席し、様々な質疑が行われ関心の高さを感じた。</p> <p>1. この説明会では、この地域を「賑わい拠点地区」に指定する説明があり、出席者から「まちの賑わい」に関する質疑があったが、どのようなことを具体的に検討しているのか。</p> <p>また、我が党の昨年第4回定例会一般質問で『地域交流とやってみたいを応援するコミュニティ拠点である「あやセンター ぐるぐる」を千住等に広げるべき』との質問をした。まさに東口の再開発の際には、区民を巻き込んだ賑わいの拠点として展開してはどうか、併せて伺う。</p> <p>2. 北千住駅東口周辺には公衆トイレが無く、平成27年に署名活動を行ってきたが、区はその改善策として東京電機大学や周辺コンビニエンスストアのトイレの利用を進めていた。しかし、当初「利用勝手が悪い、買い物無しでの利用は気が引ける」等の意見があり、現在、この周辺のコンビニでは、トイレの利用ができなくなっている。区民はこの状況の改善を望んでいるが、どのように考えているのか。</p> <p>また、駅東口再開発事業が進むまでの間、どのように対応していくのか、併せて伺う。</p> <p>3. 今回の再開発事業は、権利者の100%の同意を取って進めることが望ましいと思うが、現在、どのくらい賛同しているのか。</p> <p>また、より多くの賛同を得るためにも、区はこのまちづくり事業を地域から喜んで応援してもらうように丁寧な説明をしていくべきと思うがどうか。</p>

	38番 いいくら 昭二
行政区分	質問の要旨
	<p>さらに、この建物は「駅直結」という特性から人気が予想される。近年、ファミリー向けマンション価格が高騰し、適正価格の住宅を確保する取組みが注目されている。千代田区等の都心区では、投資目的によるマンション価格の高騰を抑制し、健全な住宅市場を維持する仕組みが検討されている。区としても独自の対策をしていくべきと思うが、併せて伺う。</p> <p>4. 常東地区（北千住東口）において、地域内の交通課題解消を目指し「チョイソコ×せんじゅ」の実証実験が延長された。地域にとって必要な交通手段になりつつあるが、実証実験を延長した理由は何か。</p> <p>また本格実施に向けて、高齢者に寄り添いもっとわかりやすい登録の仕方も検討すべきと思うどうか。</p> <p>さらに、これまでの実証実験で行き先の要望の多い地点、例えば対象地域外の学びピア等がある。当初より既存の交通機関との取り決めや課題もあると思うが、利用者の利便性を高めるためにも、北千住駅西口周辺まで拡大も視野に調整して行くべきと思うが、併せて伺う。</p> <p>2) 東武線牛田駅及びその周辺整備について</p> <p>1. 令和6年6月「京成閑屋・東武牛田駅周辺地域の街づくりに関する請願」が超党派の区議会議員が紹介議員となり提出されて約1年半が経った。現在でも朝の東武牛田駅の利用者が多く、ホームに溢れんばかりの状況である。牛田駅の整備状況について、区は事業者とどのような話し合いを進めているのか伺う。</p> <p>2. 令和2年第一回定例会の一般質問で牛田駅の踏切の課題解消について質問したが、現在、コンサルタントが入り調査をしていると聞いていている。まちづくりの視点と区民の安心・安全対策として、どのような改善が見込まれるのか伺う。</p> <p>3) 東武線堀切駅周辺の整備について</p> <p>堀切駅跨線人道橋は、昭和43年に建設し改修の時期を迎えている。</p> <p>1. 堀切駅利用者は現在1日平均約4,000人で、東京未来大学の開学により利用者が増え、障がい者も通っていると聞く。駅周辺のバリアフリーについて、跨線人道橋以外はどのような対応をしてきたのか伺う。</p> <p>2. 昨年末、堀切駅跨線人道橋の架け替え工事の住民説明会があった。堀切2号橋の利用状況は、利用者のほとんどが墨田区民と思われるが、交通量等の最新の実態はどうか伺う。</p> <p>3. この度の架け替え工事によって、東改札口（土手側）までの</p>

	38番 いいくら 昭二
行政区分	質問の要旨
	<p>距離が約80m延伸される。従来から私も要望し、今回の説明会でも質疑があった柳原一丁目36番方面に繋がる通路を検討すべきと思うが伺う。</p> <p>4. 堀切2号橋のほとんどの利用者が墨田区民という事であれば、今後の堀切駅跨線人道橋や堀切2号橋の説明会は、足立区と墨田区による合同説明会として、墨田区内でも開催し意見が反映できるようにすべきと思うがどうか。</p> <p>またその際、堀切2号橋の架け替え工事及び架け替え後の維持管理の費用負担も墨田区と交渉していくべきと思うが、併せて伺う。</p> <p>4) 千住大橋駅周辺整備について</p> <p>1. 千住大橋駅前用地活用事業は区民の関心事である。先月、この事業の住民説明会があったが、区は事業者とどのような協議をし、区民のアンケートの結果をどのように反映したのか伺う。</p> <p>2. 千住大橋駅周辺にある足立市場は、現在、改修を行っている。区はこの千住大橋駅周辺整備に際して元築地市場や豊洲市場のように足立市場の魅力をもっとPRをし、市場の活性化に向けて都と連携をしていくべきと思うがどうか。</p> <p>また今後、千住大橋のまちづくりの一環で観光資源としての足立市場をエリアデザイン計画の中に位置付けていくべきと思うがどうか。</p> <p>さらに、令和6年第二回定例会の一般質問で「この防災船着場を非常時だけでなく、平時も活用すべき」と要望した。平時の防災船着場の活用を区と足立市場が連携し取組んではどうか、併せて伺う。</p>